

# ゆきの灯り

第52号

令和3年5月発行

油木協働支援センター

TEL 82-0701

FAX 82-2228

## 令和3年度通常総会

「挨拶」 センター長 赤木健二

昨年から続いています新型コロナウイルスの猛威は、今年度に入ってもまだまだ終息する気配はありません。当分は3密を避けるなど防止対策を徹底して行う必要があるでしょう。

平素は、油木協働支援センターの運営並びに事業の推進につきまして、格別のご理解とご協力を頂きましてありがとうございます。協働支援センターも第1期5年を経過致し、第2期長期事業計画の初年度を迎えることとなりました。

前年度、機構の一部を改革して事業推進を図りましたが、事業チームと役員の連携が噛み合っていない、大方の事業が前に動いてきています。本来の住民主導のまちづくりに近づきました。

今年度も役員・職員一丸となって油木協働支援センターの運営と事業展開を進めて参りたいと思います。

今後とも、油木地区の皆様方のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。終わりに、地区内皆様の益々のご発展とご健勝をお祈りして「あいさつ」といたします。

本年度総会は構成員の3分の2の出席があり、議案は賛成多数で全て承認されました。



## 令和2年度 活動総括

「神石高原町協働によるまちづくり推進条例」に基づき設立された油木協働支援センターは、地域の総力を結集するための活動母体として、地域課題の解決方法を話し合う場としての役割を担い始めました。令和2年度は、長期事業計画の最終年として、次期5年に続く計画を策定する年となりました。

コロナ禍の中で、年度前半は会合を開くことが出来ず事業の進行に著しい停滞を招きましたが、後半に差し掛かって複数の事業に加速度的な進展が見られました。本年度より幹事会の構成並びに事業部会の組織編成を行い、これによりスムーズな意思決定と事業の推進が可能になりました。



農商業推進部 防草ネットの検証試験

## 令和2年度 通常会計収支決算報告

収入の部 (単位：円)	
町交付金・補助金	33,429,501
前年度繰越金	13,559,303
負担金・雑収入など	436,318
合計	47,425,122

支出の部		
人件費・福利厚生費	10,243,202	職員人件費・福利厚生費
報酬・費用弁償	2,520,000	自治振興会会長報酬・その他費用弁償
研修費・旅費	32,810	職員出張旅費
その他の経常費	528,352	消耗品・光熱費・使用料など
事業費	223,643	福祉部
	2,033,761	農商業推進部
	31,607	地域づくり部
	613,103	生涯学習(ゆきなび)事業部
	3,773,000	化石魅力化プロジェクト
「にしかわ」運営費	1,714,683	
備品購入費	180,462	パソコン
交付金・負担金	19,463,414	各振興会運営交付金・道路整備補助金
助成金	605,000	協働のまちづくり事業・花いっぱい運動
交際費	1,840	手土産 油木小学校への祝電
合計	41,964,877	

## 《令和2年度 事業報告》

- 油木高等学校「高校生レストラン」への協力
- 油木百彩館の賑わいの創出
- 「ゆき軽トラ掘り出し市」の開催
- 農業労働力不足対策
- 防草ネット導入支援事業
- 農地景観保全策
- ウッドチップの導入
- 芸術文化に触れあう機会の提供
- クリスマス音楽会の開催
- 化石魅力化プロジェクト
- 西川化石標本の展示室開設に着手
- 伝統文化の継承
- 神儀の映像保存の練習のため、神社などの文化財を撮影
- 生涯学習(ゆきなび)事業
- ゆきキッズクラブ・大人の教室
- 有害鳥獣対策
- 駆逐用花火講習会の開催と補助
- 分室「にしかわ」の運営
- ドローン地産地防プロジェクト(町との協働事業)
- 広報紙「ゆきの灯り」の発行
- 協働のまちづくり事業への助成

## 令和3年度 主な取り組み

### 【福祉部】

高齢者のニーズに対応した、住み慣れた地域で安心して住み続けられるまちづくりに資する生活支援、安心して住み続けられる地域を持続するための自主防災活動の推進支援など、生活に根差した支援事業を包括的に協議する。

- 高齢者在宅支援
- 自主防災活動(地産地防プロジェクト)

### 【農商業推進部】

地域農産物の販路を確保する。また、新たな振興策として特産品開発の推進を支援する。農地保全の対策として、担い手の労働力不足と鳥獣害について対策を行う。地域の景観保全策について協議する。

- 百彩館の誘客協力
- 特産品開発推進支援
- 農地保全 農地管理の担い手の確保
- 農村環境保全

### 【地域づくり部】

油木地区の空き家の譲渡や貸借を推進し、移住者の増加につなげる。「いちば」において、若者の集まる場所と機会を創出し、地区の活性化につなげる。移住・定住を促進するため、地域情報の集約を行う。

- 移住推進・定住支援
- いちば地域の賑わいの再生
- 地域情報の収集

### 【「にしかわ」運営事業】

「にしかわ」の更なる有効的な活用に向けて運営を改善する。

化石展示室と併せワークショップやイベント等を開催するほか、地域住民が集うきっかけとなる住民主体の企画展を細やかに企画していく。

### 【生涯学習(ゆきなび)部】

生涯学習教室並びに子ども放課後教室の実施。伝統文化の継承のため映像保存を行う。地域住民の文化意識の向上を図り、イベントの実施を行う。化石標本展示事業を展開すると共に、住民参加型のワークショップやフィールドワークを企画し、油木地区の地形や地質、自然環境を併せた魅力の創生を図る。

- 旧公民館事業
- 伝統文化継承事業
- 文化イベントの開催
- 化石魅力化プロジェクト

### 油木協働支援センター人事について

4月1日付を以って事務局長として赤木弘史が着任しました。よろしくお願いいたします。

## 令和3年度 通常会計収支予算

収入の部 (単位：円)	
町交付金・補助金	38,379,001
前年度繰越金	5,460,245
負担金・雑収入など	420,754
繰入金	60,000
合計	44,320,000



にしかわ化石展示室の改装工事

支出の部		
人件費・福利厚生費	10,778,200	職員人件費・福利厚生費
報酬・費用弁償	2,700,000	自治振興会会長報酬・その他費用弁償
研修費・旅費	100,000	研修視察・その他出張旅費
その他の経常費	600,000	消耗品・光熱費・使用料など
事業費	100,000	福祉部(高齢者支援・子育て支援)
	1,050,000	農商業推進部(農業振興・農村環境維持)
	150,000	地域づくり部(体験交流・移住促進など)
	2,920,000	生涯学習(ゆきなび)部 ※化石魅力化プロジェクト含む
「にしかわ」運営費	1,900,000	化石展示室維持費含む
備品購入・修繕費	400,000	備品修繕及び買い替え
交付金・負担金	19,385,001	各振興会運営交付金・道路整備補助金
補助金・助成金	3,000,000	協働のまちづくり事業・花いっぱい運動
ゆきふるさとまつり運営費	1,100,000	
交際費	20,000	謝礼・慶弔見舞金など
予備費	116,799	
合計	44,320,000	

## 第2期 長期事業計画

### 長期事業計画の趣旨

○長期事業計画は、油木地区の住民が自然・文化・歴史等の地域資源を活用しつつ、自らが取り組むべき活動の方針や内容などを定めた計画です。

○協働支援センターを核としてまちづくりに取り組むための指針として定めるものです。

### 将来目標

#### (1) 【まちづくりの基本理念】

①誰もが安心し、安全に暮らせるまちづくり  
子どもからお年寄りまで、様々な年代の人達が一緒になって支え合いながら生活し、誰もが安心し、安全に暮らせるまちの実現を目指します。

#### ②地域資源を活かした豊かなまちづくり

緑豊かな自然環境、田園風景、豊富な歴史的・文化的資源、産業資源、人的資源などを活かし、豊かで活力あるまちの実現を目指します。

#### ③自分達で創る持続可能なまちづくり

住民一人ひとりがまちづくりの目標を共有し、主体的に参加し、知恵と力を結集して様々な課題を解決し、持続可能なまちの実現を目指します。

#### (2) 将来像

『誰もが安心・安全で誇りを持って暮らせるまち ゆき』

住民相互の信頼と支え合いにより、誰もが安心・安全で、地域に愛着と誇りを持って暮らせるまちの実現を目指します。

右の4つの専門事業部を設置し、取り組むことによってこれらの将来目標を達成することを目指します。



第2期長期事業計画は、当センターHPで全文をご確認いただけます。  
([yukikyoudou.com/about](https://www.yukikyoudou.com/about))

直接ご覧になりたい方は油木協働支援センター事務所までお越し下さい。

### 家族がわりのお手伝い屋さん

あかぎくにあき  
**赤木 邦昭**

8090-4697-9766

神石高原町安田5051-1



### 福祉事業

目的

- ・安心して住み続けられる地域づくりに資する。

取組事項

高齢者 在宅支援	高齢者が住み慣れた地域で安心して住み続けられるよう協議し、支援する。
子育て 世代支援	若い世代が安心して住み続けられるよう、課題を把握し、協議し、支援する。
地産地防 プロジェクト	減災、防災に資するドローンの活用を推進する。



ドローン操作の練習

### 社会教育・生涯学習事業

目的

- ・油木地区内の地域資源を発掘、継承、活用し、地域の魅力化と活性化を図る。
- ・地域資源を生涯学習に活用する。資源の魅力化による地域価値の向上を図る。

取組事項

生涯学習教室	地域住民のニーズを把握し、生きがいの創出を行う。
放課後 子ども教室	学ぶ意欲のある子どもたちに学習機会を提供し、安全・安心な子どもの活動拠点を提供する。
文化イベント の実施	文化的なイベントや展示、体験教室を開催する。
伝統文化の 映像保存	神儀、文化財などを映像保存する。
化石魅力化 プロジェクト	西川化石標本展示室を中核に、教育、環境保全、観光に寄与する。



大学の先生による化石の同定

### 農商業推進事業

目的

- ・農林商工業の推進に資する。軽トラ掘り出し市(百彩館)
- ・農商業の振興を通じて、地域の活性化と雇用の拡大を図る。
- ・暮らしやすい農村環境を維持する。

取組事項

農商業振興(特産品 開発含む)	地域農業の中核施設となる百彩館の維持について、協議し連携協力をする。また、農産物の販路を確保するため、その方法を協議する。特産品開発を推進し、支援する。
地域農業 担い手 支援	農地管理の担い手が抱える課題に対し、解決策を協議し、実施する。景観維持を促進する制度について、見直しと維持を行う。



### 地域づくり事業

目的

- ・油木地区の魅力を再考し、「油木生活百科」住みたくなる、住み続けたくの話し合いなる地域づくりを行う。

取組事項

いちば地域の 賑わいの再生	「にしかわ」を活用した交流の場の提供、いちば地域の賑わいの創出を進める。
移住推進・ 定住支援	移住促進につながる空き家の活用方法を模索し、計画を立案し、実行する。
地域情報の 収集・活用	地域の様々な情報を収集し、移住・定住に役立てる。



### 新連載

### 空き家や土地をお持ちの皆さまへ【1】 空き家の管理、十分にできていますか？

空き家対策チーム



以前住んでいた実家が空き家になっていて、このまま放置しておくのが痛むばかり。安全面でも心配。建物の維持管理のためにも誰かに住んでもらいたい。

この地域も高齢者ばかりになって将来どうなるか心配…。誰か若い人に住んでもらってこの地域の子どもの増やしたい。

今、都会の人には古民家が人気らしい。田舎や農業にあこがれている人も増えているらしい。うちの家をリフォームして使ってくれれば……。



次回予告→空き家、なぜダメなの？ ～空き家の管理が必要な理由～  
空き家にはこんな問題が……。

未登記・未相続・遺産分割未協議・抵当権未解除・登記情報が未整理・地籍調査未完了……。

### 子どもたちのいちばんの願い、それは何だと思えますか？「出典：文部科学省」

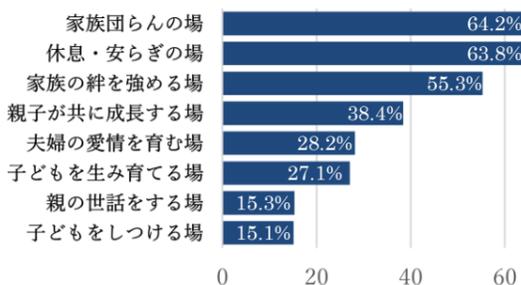
「あなたの家庭にもっと望むことがあるか」と子どもたちに聞いたところ、どの年代のこどもでもいちばん多かった答えは「家族みんなが楽しく過ごす」でした。そんな当たり前のことを子どもたちが願わざるを得ない現実を、親として真剣に受け止めたいものです。

必要なモノさえ与えていけば子どもは育つ、と思えた時代もありましたが、いまや楽しい家庭は家族が意識的に協力し合わなければなかなか得られません。

子どもにとって心安らく居場所になっているかどうか家庭を見つめ直してみましょう。



### 家庭の役割(複数回答)



資料

「国民生活に関する世論調査」  
令和元年：内閣府  
全国18歳以上の者  
5492人を対象に調査



—地域の子どもの見守り育てましょう— (油木協働支援センター)